

地域自然史と保全

Bulletin of Kansai Organization for Nature Conservation

特集 シンポジウム「つくるレッドリストでなくつかうレッドリストへ」

Volume 37
Number 2
December 2015



関西自然保護機構
Kansai Organization for Nature Conservation

表 紙 の 言 葉

伊吹山のお花畑

写真・文 前迫ゆり

滋賀県と岐阜県の県境に位置する伊吹山（標高1377m）は「日本百名山」（深田久弥）のひとつとしてよく知られるが、国天然記念物「伊吹山頂草原植物群落」でもある。山頂から望む琵琶湖の眺めは壮大で、学生時代にはじめて登った数十年前とすこしも変わらない。しかし"お花畑"は大きく変化している。過密度シカ個体群によってお花畑の彩りが失われつつある。マルバダケブキ、イブキトリカブト、フジテンニンソウは採食されないためよく開花しているが、シモツケソウ、キオン、オオバギボウシは採食によって激減し、かわってアカソが増大している。平成20年から伊吹山自然再生協議会（滋賀県ホームページ参照）は、シカ柵を設置してお花畑再生のとりくみを行っている。

写真のシカ柵はシモツケソウの開花に効果を発揮しているが、同協議会委員によると、今後、積雪にも耐える形状にさらに改良していくとのことである。生物多様性の回復をめざす地道なとりくみが標高1300mで続いている。

写真：2015年 8 月18日撮影

関西自然保護機構（KONC：Kansai Organization for Nature Conservation）

KONCは自然環境保護にかかわる人たちや関心を持つ人たちを幅広く組織して、自然環境保全に関する各分野での研究を結集し、その研究の進歩と自然環境の保護・保全のために努力することをめざして、1978年に創立されました。

KONCはその活動の成果と、会員個々人の学識と経験の蓄積にもとづいて、近畿地方に於ける広い意味での自然保護の諸問題に対する有力なアドバイザー・ボディ（助言勧告機関）として、社会の要請にこたえることを企画しています。

現在、次のような活動をしています。

1. 基礎研究の実施
2. シンポジウム・セミナー・講演会などの開催
3. 現地見学会の開催
4. 研究助成金の交付
5. 会誌・連絡紙の発行
6. 自然保護に関する基礎資料の収集と配付
7. 自然保護および自然環境保全に関する提言と助言
8. 国内外の諸団体との連絡・協力

会の活動は、個人会員・維持会員の会費により、まかなわれています。